

くる〜 ニヤッ!

皆さんをまちにお招きするニヤ〜


やまぐちまちなか情報広報誌
第6号
Yamaguchi Machinaka

2018.4

やまぐちまちなか情報広報誌

やまぐち



市民の力で
ふれあいが
さかんな
まちなかに!

もくじ

中心市街地ではいろいろな人が参加して交流を創り出しています!	2・3
住宅市街地総合整備事業	4
バリアフリー基本構想	5
黄金町地区第一種市街地再開発事業	5
あきないのまち支援事業	6
山口市中心市街地への出店ストーリー	7
なぜ、中心市街地の活性化が必要なの?	8

意見を聞かせてニヤ!



山口市中心市街地活性化の
取り組みについて、みなさんの意見を
山口市中心市街地活性化協議会までお寄せください。
[発行元]
山口市中心市街地活性化協議会
〒753-0086 山口県山口市中市町1-10 (山口商工会議所内)
TEL: 083-925-2300 FAX: 083-921-1555
E-mail: yc@yamacci.or.jp
[編集・デザイン・印刷] 株式会社マルニ

7つの商店街の
横のつながりを作り出す

サークルセブン

商店街全体を巻き込んで
イベントを実施

商店街が横のつながりを持って、活気を創る楽しいことができればと始まった団体で、小学生を対象にした「ハロウィン仮装パレード」や「職場体験」を行っています。ハロウィンは、親子合わせて500人が参加し、職場体験も市内各地区から申し込みがあり、とても好評です。イベントの運営には20～30人の大学生が携わっているので、商店街の外からの視点で意見を取り入れる良い機会になっています。



小学生が商店街の店舗で仕事を体験

代表 杉山 誠雄 さん

NPOなどの
活動を支援する

山口市市民活動支援センター
さぼらんて

商店街から情報発信をして
社会の受け皿を作る

「さぼらんて」には、発達障がいや引きこもり、不登校など、さまざまな地域課題の解決に向けて活動している団体の登録が300以上あります。市民活動にたくさんの人に触れてもらいたい、誰でも気軽に立ち寄ることができる商店街に設置されました。誰かの困り事を解決するため、子どもたちの未来のため、「あなたの優しさ」とほんの少しの勇気を応援します!」



さまざまな団体のPRを掲示しています。
[所在地] 山口市道場門前1-2-19



センター長 渡邊 洋子 さん

中心市街地ではいろいろな人が参加して
交流を創り出しています!

高齢者を中心に
誰もが気軽に交流できる

ほっとさろん中市
「まちのえき」

立ち寄った人が
心地よく過ごせる空間

「まちのえき」は、1日約70人の利用があります。知り合いと話をしたり、保健師や看護師に健康相談をしたり、思い思いに過ごすことができるのが特徴です。話をしなくても、同じ空間で過ごすことが交流になるとも考えています。高齢者は、人とのつながりが希薄になりがちです。「まちのえき」が、人とのつながりを持ち続けられる場所になればと思います。



「まちのえき」外観
[所在地] 山口市中市町3-14

センター長 神本 直樹 さん

女みこしで
山口祇園祭を盛り上げる

山口祇園祭女みこし

女みこしを通じた担ぎ手同士の交流

7月20日から始まる山口祇園祭最終日の27日に、御還幸でご縁結びの神様のおみこしを女性だけで奉納します。今は宮野の自宅で花屋を営んでおりますが、以前は道場門前に店を構えておりました。その頃アルバイトの県大生が女みこしに参加し、翌年自分が担ぎ手として関わりを持ったことがきっかけで、現在代表をしております。毎年、担ぎ手として100人の募集をかけていますが、ここ数年はキャンセル待ちが出るほどの人気です。リピーターも多く、最近では留学生も参加していて、さまざまな人との



交流が生まれています。山口のお祭りに一緒に参加しませんか。



代表 沓野 優紀 さん

女性だけのおみこしをかつぎます。
[主催] 山口市商店街連合会

商店街のさまざまな
イベントを企画・運営する

株式会社DERESI

商店街で働く人の
声をイベントに活かす

「HOLA!やまぐちスペインフィエスタ」や「どうもんカレーフェスティバル in 山口市」「山口デー」をはじめとする、商店街のイベントの運営と広報活動をしています。商店街で働く人と一緒に活動するので、店舗の声を聞くことができるようになりました。これからは、人を呼ぶだけでなくお店にもさらに利益があるイベントになるように考えていきます。



作成した広報チラシ

山口支店長 石川 優一さん

子どもたちが心豊かに
成長できるようサポートする

認定NPO法人
こどもステーション山口

芸術を通じて
子どもたちの交流を見守る

子どもたちに芸術・文化に触れてほしい、大勢で遊ぶ体験をしてほしいとの思いから、プロによる舞台の鑑賞やこどもまつりなどのイベントを行っています。子どもたちは、異なる学年の友だちとつながることにワクワクしているようです。商店街は利便性が高く、人が集まりやすい場所。この立地を活かして、これからも子どもたちのための活動を継続していきたいです。



事務局長 福山 枝里さん



「あっちこっちdeアート2017」の様子



中心市街地をもっと活気のある場所にしたいと、
熱い思いを持って活動している団体がたくさんあるニャ！
まちがもつとにぎわい、居住人口が増えるために
これからはコミュニティづくりが大切になるニャ～。

子育て中のお母さんが
気軽に立ち寄れる

ほっとさろん西門前
てとと

子育てに関する
情報交換と交流の場に

「てとと」は子どもを遊ばせたり、授乳、休憩で立ち寄ることができるスペースで、子育て中のお母さん同士の情報交換の場になっています。お母さん世代を中心に、学生ボランティアやシニア世代もスタッフとして参加しているのも特徴です。「てととに来ることで、地域のことを知るきっかけになった」と話す利用者もいます。



子どもと一緒におもちゃで遊びながら交流
[所在地] 山口市本町2-1-3

センター長 藤井 智佳子さん

白石地区地域づくり協議会
ふるさとまつり参加促進実行委員会

お祭りを通して
住民同士の交流の場に

8月6日・7日の「山口七たちょうちんまつり」に合わせて、一の坂川の西京橋～千歳橋の兩岸とほたるの広場に45本の「ミニちょうちんツリー」を設置しています。昔は、早間田や千歳橋周辺の個人宅でちょうちんを立てていたのですが、いつの間になくなってしまいました。一の坂川周辺地区整備事業の際に竿を立てる穴を設けたことから、3年前にちょうちんの設置を復活。ちょうちんの飾り付け・点灯には、白石地区子ども会育成会が関わり、昨年は親子245名が参加しました。ほたるの広場では、白石地区町内会連合会が「白石カフェ」を開設し、フラダンスや南京玉すだれの演舞も行いました。

白石地区は新しく移り住んだ人が多いので、人間関係が希薄になりがちですが、これらの催しを通じて住民同士の絆や連帯感を深め、伝統あるお祭りに関わることで郷土愛を育みたいというのが目的です。実際に毎年多くの方に参加していただき、住民同士のコミュニケーションの場、憩いの場になっていると感じています。



会長 内山 清輝さん 副会長 田畑 一夫さん

みんなで
ちょうちんを
飾り付け



親子で
協力して
火入れ



一の坂川を
彩る幻想的な
風景



住宅市街地総合整備事業

道路の拡幅、空き家、
空き地の改善により、
まちなかの暮らしの
魅力を高めます！

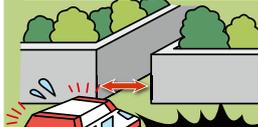
なぜ整備するの？

空き家・空き地の増加



防犯・防災上の不安
まちの活力低下

4m未満など狭い道路が多い



緊急車両が
通れない
家の建て替えが
できない

年数が経った木造住宅が多い

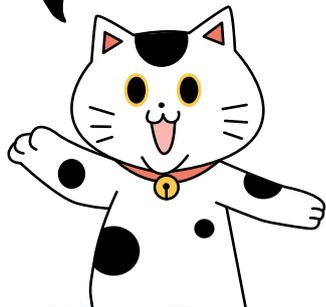


災害時の倒壊
火災の延焼のおそれ

中心市街地は
建物密集地だから、
いろんな不安が
あるんだニャ。

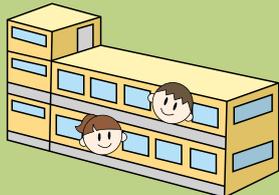


整備をすることで
人が集まる元気なまちに
なっていくニャ。

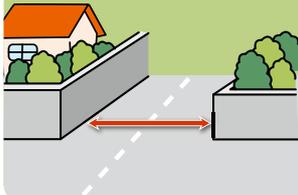


どうなるの？

代替住宅の確保



道路の拡幅



公園や広場を整備



建て替えの支援



平成28年3～7月

- 道路整備を契機としたまちの将来像の検討
- 整備方針の具体化に向けたアイデア出し
- 整備内容の大枠の取りまとめ

平成29年度～

- 道路線形の確定

平成30年度～

- 道路整備に向けた調整

「善福寺・地藏通りの将来イメージと整備の大枠」

- まちの将来イメージ
 - 安心して暮らせるまち
 - 便利で生活しやすいまち
 - ご近所同士のコミュニケーションが盛んで新しい住民と交流できるまち
- まちづくりのコンセプト
 - 門前町の歴史を大切にする「和風モダンな情緒ある通り」
- 道路の整備方針
 - 緊急車両が通行できる道幅の確保(5m程度)
- ポケットパークの整備方針
 - イベントにも活用できる広場の整備
- 将来像を実現するための沿道の土地利用方針
 - まちのコンセプトに合う高さの住宅や店舗

通りの名称を
「善福寺・地藏通り」とします！



現在の「善福寺・地藏通り」

※かつて「善福寺」というお寺がこの地にあった歴史を伝えるため、地名として残すこととしました。

事例 「善福寺・地藏通り」のまちづくり

平成28年3月から、「まちづくり検討会」を開催し、「将来こんなまちを目指して整備をしていきたい」というシナリオ作りに取り組んできました。

MAP A

バリアフリー 基本構想

平成28年10月に「山口駅周辺地区バリアフリー基本構想」を策定しました。「誰もが安全に安心して快適に暮らし、互いに支えあうまち」を実現していきます。

基本方針

1. 山口駅を中心とした一体的なバリアフリー化の推進
2. 駅通り及び商店街アーケードを軸として、バリアフリーの回遊空間づくりの推進
3. 多様な人々の協働による心のバリアフリーの推進

関係機関と連携しながら整備していくニャ!



交通安全のバリアフリー化

バリアフリー対応型信号機の設置 など



都市公園のバリアフリー化

園路の舗装の改良 など



公共交通のバリアフリー化

低床バス等の導入推進 など



心のバリアフリー

マナーやモラルを守るための啓発活動や教育を通じて、高齢者や障がい者への理解を促進します。



建築物のバリアフリー化

敷地内の傾斜路への手すりの設置 など



道路のバリアフリー化

歩道の幅の確保 など



平成29年3月

- ・建築物に関する特定事業計画(※)の策定
- ・都市公園に関する特定事業計画の策定
- ・道路や交通安全に関する特定事業計画の策定に向けた関係者協議

平成30年

- ・道路や交通安全に関する特定事業計画の策定

※特定事業計画とは、バリアフリー化の促進に向けて実施される、特定の事業を計画に位置付けたものです。

みんなが理解することが大切だニャ。



黄金町地区第一種市街地再開発事業

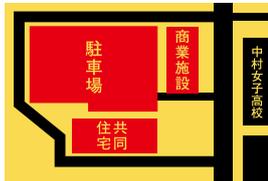
老朽化した道場門前大駐車場や隣接建物を解体しての、新たな商業施設、駐車場、共同住宅等の整備が計画されています。



イメージ図 手前:商業施設、左奥:共同住宅、右奥:駐車場

今後の予定

- 平成30年3月～ 建物解体
- 平成30年8月～ 建築工事
- 平成32年2月 竣工



問い合わせ先 TEL 083-941-16381

(山口市黄金町地区市街地再開発組合)

- 〔事業主体〕山口市黄金町地区市街地再開発組合
- 〔施行地区面積〕約1ha
- 〔建築面積〕約5,100㎡
- 〔整備内容〕商業施設、地域防災施設、駐車場(436台)、共同住宅(101戸)等

あきないのまち支援事業

あきないのまち支援事業補助制度

空き店舗を減らして、商店街ににぎわいを！

中心商店街にある空き店舗で新規に開業する方を対象に、出店時の店舗改装費等の支援を行います。

〔補助対象〕店舗改装に係る経費
〔補助金額〕●飲食業 補助対象経費の2分の1以内(上限150万円)
●飲食以外の小売・サービス業等 補助対象経費の2分の1以内(上限100万円)

●事務所 補助対象経費の2分の1以内(上限50万円)
※市内に住民登録がある
35歳未満の若者及び女性の経営者…上限額30万円加算

7ページの
出店ストーリーも
読んでニャ!



山口商工会議所による 起業の支援

起業力レッジ

起業に必要な知識やノウハウについて、じっくり60時間・3段階で学ぶセミナーを、毎年7月から9月にかけて開催しています。分からないことは、講師・サポート陣が個別に対応。起業を志す仲間もできる、充実したセミナーです。

空き店舗の推移



業種別店舗の状況

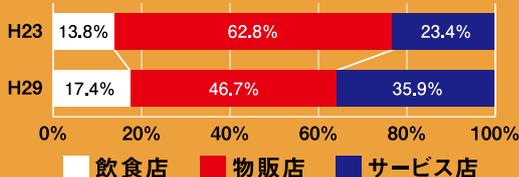
7年間での出店数の状況

- ・出店数は133店舗で、営業店舗の47%が新しいお店となりました。
- ・新しく出店したお店の割合は、「飲食店」が25%、「物販店」が35%、「サービス店」が40%となっていて、飲食店やサービス店の出店割合が増加しています。

商店街の半分近くのお店が新しくなっているニャ!



平成23年と平成29年で業種別の構成を比較



楽しく食事できるお店が増えたニャ!



金融相談

開業資金の準備や、その後の設備投資資金など、お金のことは不安がつきもの。商工会議所では、最新の補助金制度や融資制度をチェックすることができます。スムーズな資金調達にお役立てください。

行政や金融機関・支援機関などと連携して、支援をしているニャ。



第3段階 起業ステップアップ塾 (全4回)

- 主な内容
- ・事業の成長戦略の策定
 - ・中期ビジョンの設定
 - ・年間活動計画の策定
 - ・中期事業計画のプレゼンテーション

第1段階 起業たまご塾 (1日セミナー)

- 主な内容
- ・起業時に必要な基礎知識
 - ・起業に関する支援制度の活用ポイント
 - ・講師や支援機関との個別相談

第2段階 起業塾(全5回)

- 主な内容
- ・マーケティング戦略の基本
 - ・財務管理の基本
 - ・事業計画の立て方
 - ・事業計画のプレゼンテーション

あきないのまち支援事業についてのご相談、起業に関する疑問、お問い合わせは、随時お受けしています。まずは、山口商工会議所までお電話・メールでご連絡ください。

TEL (083) 925-2300 E-mail yc@yamacci.or.jp

相談
してみるニャ。



山口市中心市街地への 出店ストーリー



日本茶専門店 八十八

店主・日本茶インストラクター
吉光 虹太 さん (35)

平成28年10月、駅通り商店街に日本茶専門店「八十八」をオープンした吉光さん。商店街に出店した理由や、商店街の印象などを伺いました。

お店の特徴は？

国産の緑茶、烏龍茶、紅茶を扱う日本茶専門店です。茶葉やお茶菓子、茶器の販売がメインで、茶葉は、農家や問屋に向き、直接自分で味や香りを確かめております。店内には喫茶スペースもあり、気軽に立ち寄ってコミュニケーションが取れる空間を作っています。

Uターンまでの経緯は？

お茶に興味を持ったのは、大学時代。農業研修でオーストラリアに行ったときに飲んだ紅茶がきっかけで、お茶のある暮らしの心地よさに目覚めました。卒業後は、静岡県にある製茶問屋に就職。仕事は楽しかったのですが、自分でもっと多くの人にお茶を広めたいという思いが強くなり、東京で販売の勉強をした後、山口でお店を始めました。

商店街に出店したのはなぜ？

どんなにお茶を飲む方でも、毎日お茶を買いに「来店されることはあり



日本茶専門店 八十八 (はちじゅうはち)

日本茶専門店

【開店日】平成28年10月
【所在地】駅通り商店街
【営業時間】10:00~19:00
【定休日】水曜

今後の目標は？

個人でお茶を広めるには限界があるのでも、他業界・商品と一緒に広めていければと考えております。春には、菓子店と一緒に菓子に合うようにブレンド・セレクトしたお茶を販売予定です。

お店の特徴は？

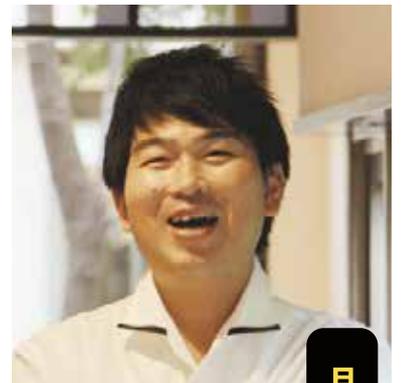
フランス料理をコースで楽しむことができ、「記憶に残る1皿」でお客様をおもてなししています。食材は厳選された山口・九州産のものを使用し、手作りにこだわっています。フランスから2種類のパンを取り寄せていますが、そのほかお店で出しているものはほぼ100%手作りです。

Uターンまでの経緯は？

高校卒業後、福岡の調理師専門学校に通い、東京のフランス料理店に就職しました。その後、博多に移住し、「ホテルニューオータニ博多」「フランスリールボキューズ博多」「レストランひらまつ」を経て、2014年から3年間、フランスリールボキューズ博多の料理長を務めました。元々、10年修行して30歳になったら自分の店を持ちたいと思っていたので、地元・山口で出店することを決めました。

商店街に出店したのはなぜ？

商店街の活性化に貢献したいと思ったことですね。私が小さい頃の商店街は、「街」と呼べるぐらいにぎわっていたんです。私の商店街のイメージは、「街」のまま止まっていたので、戻ってきて人通りの少なさに驚きま



月の光

オーナーシェフ
藤岡 慎一 さん (35)

平成29年10月、米屋町商店街に「月の光」をオープンした藤岡さんに、Uターンの経緯や今後の目標などを伺いました。

今後の目標は？

より幅広い年代の方に、フレンチを伝えていくことが目標です。今のお客様の層は40・60代が中心ですが、若い世代の人にも足を運んでほしいと思っています。幅広い年代の方にフレンチを知ってもらう一環として、料理教室やテーブルマナー教室などのイベントを行っています。今後は、ワインに合った料理が楽しめるワイン会の開催や、商店街のお祭りへの参加も考えています。



月の光 飲食店

【開店日】平成29年10月
【所在地】米屋町商店街
【営業時間】【ランチ】11:30~15:00(L.O.13:30)
【ディナー】17:30~22:00(L.O.19:30)
【定休日】火曜・第一水曜・第三日曜



立ち飲み屋 hangout (ハンクアウト)

飲食店

【開店日】平成29年12月
【所在地】駅通り商店街



STELLA (ステラ)

古着屋

【開店日】平成29年11月
【所在地】道場門前商店街



COME-YA NEXT (コメヤネクスト)

交流スペース

【開店日】平成29年9月
【所在地】米屋町商店街



エクスプレス山口

リフォーム

【開店日】平成29年7月
【所在地】駅通り商店街



八百花まつにし (やおかまつにし)

野菜・花

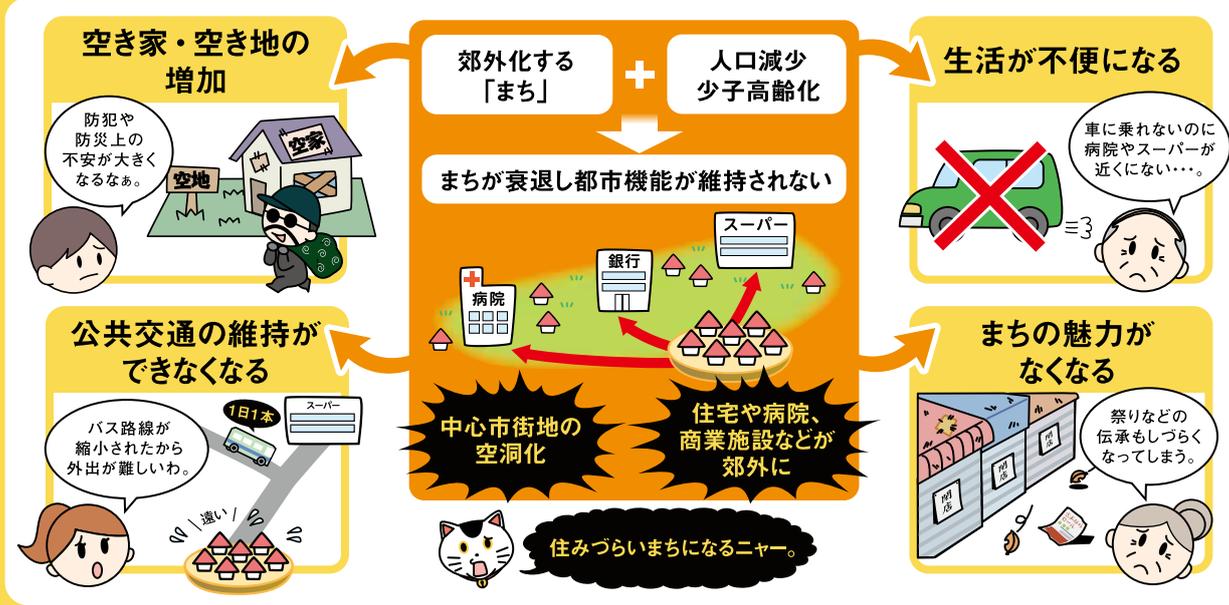
【開店日】平成29年5月
【所在地】中市商店街

New SHOP INFORMATION

平成29年度に
山口市中心商店街へ
出店した店舗を
見てみるニャ。

なぜ、中心市街地の活性化が必要なの？

1 まちの課題



2 国が進める 2つの計画



3 中心市街地での取り組み

